



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月4日

上場会社名 ユアサ・フナシヨク株式会社
コード番号 8006 URL <https://www.yuasa-funashoku.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 共之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 石橋 宏

TEL 047-433-1212

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	30,193	5.2	330	42.4	492	21.6	342	20.1
2023年3月期第1四半期	28,707	7.1	232		404	429.3	285	83.0

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 739百万円 (165.8%) 2023年3月期第1四半期 278百万円 (79.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	76.21	
2023年3月期第1四半期	63.45	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	59,407	33,780	56.2	7,427.48
2023年3月期	57,937	33,491	57.1	7,363.57

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 33,374百万円 2023年3月期 33,086百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				100.00	100.00
2024年3月期					

(注) 当社は定款において期末日を配当基準日と定めていますが、現時点では2024年3月期末日における配当予想額は未定です。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	62,000	6.5	800	40.8	900	20.6	600	16.5	133.53
通期	125,000	6.0	1,700	16.3	2,000	13.7	1,400	25.9	311.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	4,897,723 株	2023年3月期	4,897,723 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	404,398 株	2023年3月期	404,398 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	4,493,325 株	2023年3月期1Q	4,493,401 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
3. 補足情報	10
(1) 販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が変更され、終息に向かう動きの強まりにより景気回復が進んだ一方で、ロシア・ウクライナ情勢長期化の影響など不安定な国際情勢による原材料・エネルギー価格の高騰、円安の継続等、先行きは依然として不透明な状況が続きました。

食品流通業界におきましては、コロナ禍で抑制されていた外食産業を始めとする対面サービスへの支出増加など消費の回復が継続するなか、輸送コストや原材料高騰に伴う家庭用商品の値上げが続いており、消費者の節約志向が一段と強まるなど、企業間競争は引き続き厳しい環境となりました。

ビジネスホテル業界におきましては、国による観光産業への支援事業や水際対策緩和により、レジャー客及び訪日外国人客の需要回復が進みましたが、燃料費や物価高騰の影響で利益が圧迫され厳しい環境となりました。

このような状況のなかで、当社グループは引き続き、地域に密着した営業を展開するとともに、商事部門では物流の効率化、ホテル部門ではお客様と従業員の安全を確保するなかで営業を継続してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は301億93百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益は3億30百万円（前年同期比42.4%増）、経常利益は4億92百万円（前年同期比21.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億42百万円（前年同期比20.1%増）となりました。

事業別セグメントの概況

① 商事部門

商事部門につきましては、物価高騰による消費者の節約志向が継続するなか、価格競争の激化、物流コストの上昇等、依然として厳しい事業環境となりました。

このようななかで、商品供給を的確に行うとともに、新規取引の獲得、新商材の提案などを積極的に行ってまいりました。

売上高の内訳は、食品では、加工食品が低調に推移しましたが、冷凍・チルド商品、菓子、酒類、砂糖が順調に推移し増収となりました。業務用商品では、小麦粉、澱粉、油脂の販売単価上昇及び、燃料、業務用食材の順調な推移などにより増収となりました。飼料・畜産では、飼料は養豚、養鶏の生産者向け販売数量が減少したものの販売単価が上昇し増収となりました。畜産は枝肉販売数量が減少しましたが、正肉販売数量が増加したことに加え、販売単価の上昇により増収となりました。米穀では、精米及び玄米の販売単価は上昇したものの、精米の販売数量が減少し減収となりました。

その結果、商事部門の売上高は294億82百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は3億26百万円（前年同期比23.6%減）となりました。

② ホテル部門

ホテル部門につきましては、新型コロナウイルス新規感染者数の減少に伴う各種イベントやスポーツ大会等の再開、水際対策緩和によるインバウンド需要の回復などにより、稼働率の回復が進み増収となりました。

その結果、ホテル部門の売上高は6億55百万円（前年同期比54.0%増）、営業利益は1億60百万円（前年同期は営業損失88百万円）となりました。

③ 不動産部門

不動産部門につきましては、賃貸料収入による売上高は55百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は54百万円（前年同期比4.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ14億70百万円増加し594億7百万円となりました。主な内容は受取手形及び売掛金の増加3億68百万円、商品及び製品の増加2億87百万円、未収入金の増加2億51百万円、投資有価証券の増加5億84百万円などによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ11億81百万円増加し256億27百万円となりました。主な内容は支払手形及び買掛金の増加11億89百万円、繰延税金負債の増加2億49百万円、未払法人税等の減少3億33百万円などによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億89百万円増加し337億80百万円となりました。主な内容はその他有価証券評価差額金の増加3億93百万円、利益剰余金の減少1億6百万円などによるものです。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは7億25百万円（前年同期比12億16百万円の収入増）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益4億92百万円、売上債権の増減額△3億68百万円、棚卸資産の増減額△2億61百万円、仕入債務の増減額11億89百万円、法人税等の支払額△3億53百万円などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは△71百万円（前年同期比8百万円の支出増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出72百万円などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは△5億50百万円（前年同期比2億14百万円の支出増）となりました。これは主に短期借入金の純増減額△70百万円、配当金の支払額△4億49百万円などによるものです。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の四半期末残高は前連結会計年度末から1億2百万円増加し111億4百万円（前年同期比4億37百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,046	11,146
受取手形及び売掛金	14,985	15,354
商品及び製品	1,890	2,178
仕掛品	38	27
原材料及び貯蔵品	318	303
未収入金	3,792	4,043
その他	48	112
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	32,115	33,161
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,824	10,872
減価償却累計額	△8,518	△8,566
建物及び構築物(純額)	2,306	2,306
機械装置及び運搬具	1,872	1,854
減価償却累計額	△1,621	△1,617
機械装置及び運搬具(純額)	250	236
土地	10,651	10,651
建設仮勘定	967	968
その他	1,497	1,525
減価償却累計額	△1,366	△1,374
その他(純額)	131	150
有形固定資産合計	14,306	14,312
無形固定資産		
ソフトウェア	36	30
その他	72	73
無形固定資産合計	108	104
投資その他の資産		
投資有価証券	8,963	9,548
長期貸付金	187	182
繰延税金資産	9	12
差入保証金	2,158	1,994
その他	210	212
貸倒引当金	△121	△121
投資その他の資産合計	11,407	11,829
固定資産合計	25,822	26,246
資産合計	57,937	59,407

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,915	20,104
短期借入金	1,943	1,863
未払法人税等	390	56
賞与引当金	63	32
その他	1,592	1,812
流動負債合計	22,905	23,869
固定負債		
繰延税金負債	585	834
退職給付に係る負債	710	687
役員退職慰労引当金	12	12
長期未払金	24	24
その他	208	199
固定負債合計	1,540	1,757
負債合計	24,446	25,627
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,599	5,599
資本剰余金	5,588	5,588
利益剰余金	19,769	19,662
自己株式	△876	△876
株主資本合計	30,080	29,973
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,023	3,417
退職給付に係る調整累計額	△17	△17
その他の包括利益累計額合計	3,006	3,400
非支配株主持分	404	406
純資産合計	33,491	33,780
負債純資産合計	57,937	59,407

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	28,707	30,193
売上原価	26,910	28,251
売上総利益	1,797	1,942
販売費及び一般管理費	1,565	1,611
営業利益	232	330
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	116	132
その他	57	29
営業外収益合計	176	165
営業外費用		
支払利息	3	3
その他	0	0
営業外費用合計	4	3
経常利益	404	492
特別利益		
固定資産売却益	-	0
特別利益合計	-	0
特別損失		
固定資産処分損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	404	492
法人税、住民税及び事業税	19	74
法人税等調整額	99	72
法人税等合計	118	147
四半期純利益	285	344
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	285	342

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	285	344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	394
退職給付に係る調整額	△2	0
その他の包括利益合計	△7	395
四半期包括利益	278	739
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	278	736
非支配株主に係る四半期包括利益	0	3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	404	492
減価償却費	97	88
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△31	△31
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2	△22
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	0	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△87	△1
受取利息及び受取配当金	△119	△135
支払利息	3	3
有形固定資産除売却損益 (△は益)	0	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	47	△368
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△266	△261
その他の資産の増減額 (△は増加)	△15	△144
仕入債務の増減額 (△は減少)	403	1,189
その他の負債の増減額 (△は減少)	99	186
その他	△69	△46
小計	468	947
利息及び配当金の受取額	118	134
利息の支払額	△3	△3
法人税等の支払額	△1,074	△353
営業活動によるキャッシュ・フロー	△490	725
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△66	△72
有形固定資産の売却による収入	-	0
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
その他	4	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△63	△71
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	10	△70
長期借入金の返済による支出	△9	△9
配当金の支払額	△314	△449
その他	△21	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△335	△550
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△883	102
現金及び現金同等物の期首残高	11,549	11,001
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,666	11,104

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	商事部門	ホテル部門	不動産部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	28,229	425	53	28,707	—	28,707
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	4	0	13	17	△17	—
計	28,233	425	66	28,725	△17	28,707
セグメント利益又は損失(△)	427	△88	51	391	△159	232

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△159百万円には、のれん償却額△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△158百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	商事部門	ホテル部門	不動産部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	29,482	655	55	30,193	—	30,193
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	6	0	13	19	△19	—
計	29,488	655	68	30,212	△19	30,193
セグメント利益又は損失(△)	326	160	54	541	△210	330

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△210百万円には、のれん償却額△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△213百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 販売の状況

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (2022年4月1日から 2022年6月30日まで)	当第1四半期連結累計期間 (2023年4月1日から 2023年6月30日まで)	前年同期比
食品（酒類・飲料含む）	18,628	18,923	101.6
業務用商品	4,552	5,156	113.3
米穀	1,549	1,531	98.8
飼料・畜産	3,498	3,871	110.7
商事部門計	28,229	29,482	104.4
ホテル部門	425	655	154.0
不動産部門	53	55	104.4
合計	28,707	30,193	105.2